

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和8年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 多度津町立豊原小学校
(2) 所在地 香川県仲多度郡多度津町南鴨704番地
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (令和8年4月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援 学級	児童数計	教員
2学級 55名	2学級 48名	2学級 58名	2学級 60名	2学級 62名	3学級 74名	4学級 14名	371名	25名

2 研究主題等

(1) 研究主題

子どもが問いをもち、協働し、よりよく生きようとする力を育む道徳教育
— 実生活につながる総合単元的道徳学習の展開 —

(2) 研究主題設定の理由

本校の児童は、素直で活気に溢れ、縦割り活動や地域連携の中でひたむきに活動することができる。一方で、主体性や規範意識の不足が顕著であり、指示待ちの姿勢や自己肯定感の低さが、自分中心的な行動や持続力の弱さにつながっている。

そこで、自分を大切にすること（自己肯定感）を基盤とし、「よりよい自分になりたい」という願いをもって、自ら考え、判断し、行動する力を育てる必要がある。同時に、自分と同じように「相手も大切にすること」という視点から、相手の立場に立って考え、よりよい人間関係を築く力を育てたいと考えた。

(3) 研究内容及び方法

- ①共通内容項目を月ごとに設定し、それを軸にしたカリキュラムを進めることにより、自ら問いをもち、生活や道徳的価値に関わる問題や課題を主体的に解決しようとする子どもを育てる。
- ②学級経営を充実させ、授業の協働部分において本音（自分）を語り、実生活とつなげるような授業展開へと工夫することで、児童に道徳的価値を自覚させ、よりよい生活について広げ、深めることができるようにさせる。

3 成果の評価計画

- ・児童に対するアンケート調査
- ・QUアンケート調査
- ・保護者アンケート調査
- ・学校関係者による外部評価

4 研究成果の普及方法

令和9年度香小研道徳部会の研究発表校（四国大会）になっており、四国内、県内の先生方に向けて研究成果を発表する予定である。